

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8 年 5 月 27 日

奈良市長 殿

提出者

住所

大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

氏名

株式会社イチケン 関西支店

上席執行役員 関西支店 支店長 中村 晃

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

06-6253-6200



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社イチケン 関西支店
事業場の所在地	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
事業の種類	06：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,470.73 t	全処理委託料	2,470.73 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	67.73 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	2,470.73 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別紙

氏名又は法人名	電話番号	代表者氏名	電話番号
株式会社イナケン 関西支店	06-6253-6200	関西支店 購買部	祝原恒夫

産業廃棄物の種類	中間処理を含む										委託処理した廃棄物に関する事項									
	中間処理を含まない					中間処理を含む					自ら処理した後の処理委託量									
	自ら発生利用 を行った量 2	自ら発生又は 譲渡した 量 3	自ら中間処理 を行った量 4	うち中間処理 を行った量 5	中間処理後の 残存量 6	自ら中間処理 した量 7	中間処理後の 発生利用量 8	中間処理後の 発生利用量 9	中間処理後の 発生利用量 10	中間処理後の 発生利用量 11	全処理委託量 (当分の間)	うち優良処理 委託者への委託量	再生利用業者 の処理量	認定回収業者 の処理量	その他の 中国処理業者	増設処分業者				
排出量	1																			
1 廃プラスチック類	65.56t					100.0					65.56t	65.56t	65.56t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
2 木くず	25.03t					100.0					25.03t	25.03t	25.03t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
3 ガラスくず等	10.05t					100.0					10.05t	10.05t	10.05t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
4 がれき類	21.76t					0.00t					21.76t	21.76t	21.76t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
5 管理型混合廃棄物	7.28t					100.0					7.28t	7.28t	7.28t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
6						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
7						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
8						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
9						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
10						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
11						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
12						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
13						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
14						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
15						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
16						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
17						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
18						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
19						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
20						100.0					0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t
合計	129.68t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	100.0	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	129.68t	129.68t	129.68t	0.00t	0.00t	0.00t				0.00t

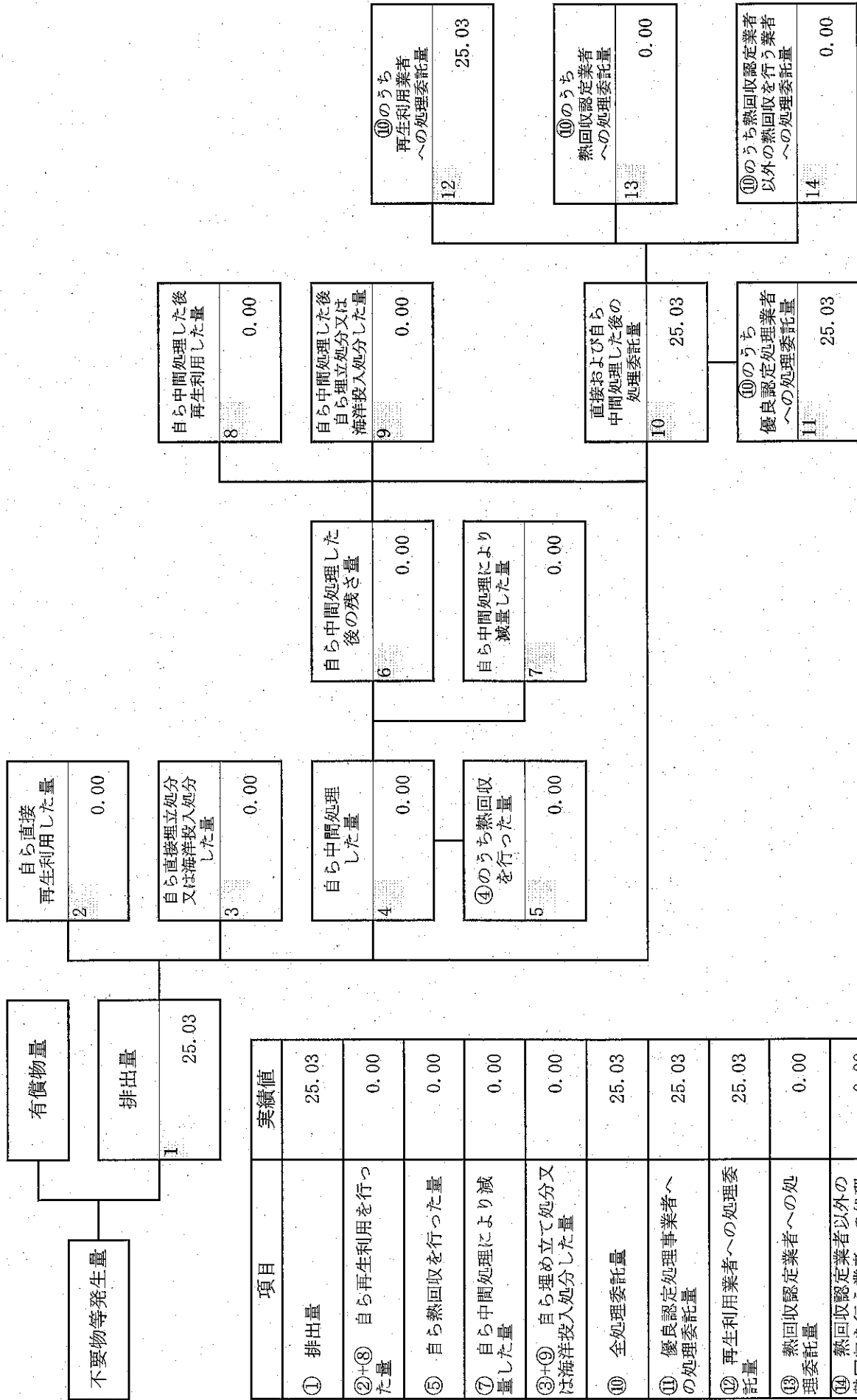
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

有償物量		自ら直接 再生利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち 再生利用業者 への処理委託量	
排出量		2		8		12	
1		0.00		0.00		65.56	
不要物等発生量		自ら直接埋立処分 又は海洋投入処分 した量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑩のうち 熱回収認定業者 への処理委託量	
1		3		9		13	
65.56		0.00		0.00		0.00	
項目		実績値		自ら中間処理した 後の残さ量		直接および自ら 中間処理した後の 処理委託量	
① 排出量		65.56		6		10	
②+⑧ 自ら再生利用を行っ た量		0.00		0.00		65.56	
⑤ 自ら熱回収を行なった量		0.00		自ら中間処理により 減量した量		⑩のうち 優良認定処理業者 への処理委託量	
⑦ 自ら中間処理により減 量した量		0.00		7		11	
③+④ 自ら埋め立て処分又 は海洋投入処分した量		0.00		0.00		65.56	
⑩ 全処理委託量		65.56		④のうち熱回収 を行なった量		⑩のうち 熱回収認定業者 以外の処理委託量	
⑪ 優良認定処理事業者へ の処理委託量		65.56		5		14	
⑫ 再生利用業者への処理委 託量		65.56		0.00		0.00	
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量		0.00					
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量		0.00					

計画の実施状況

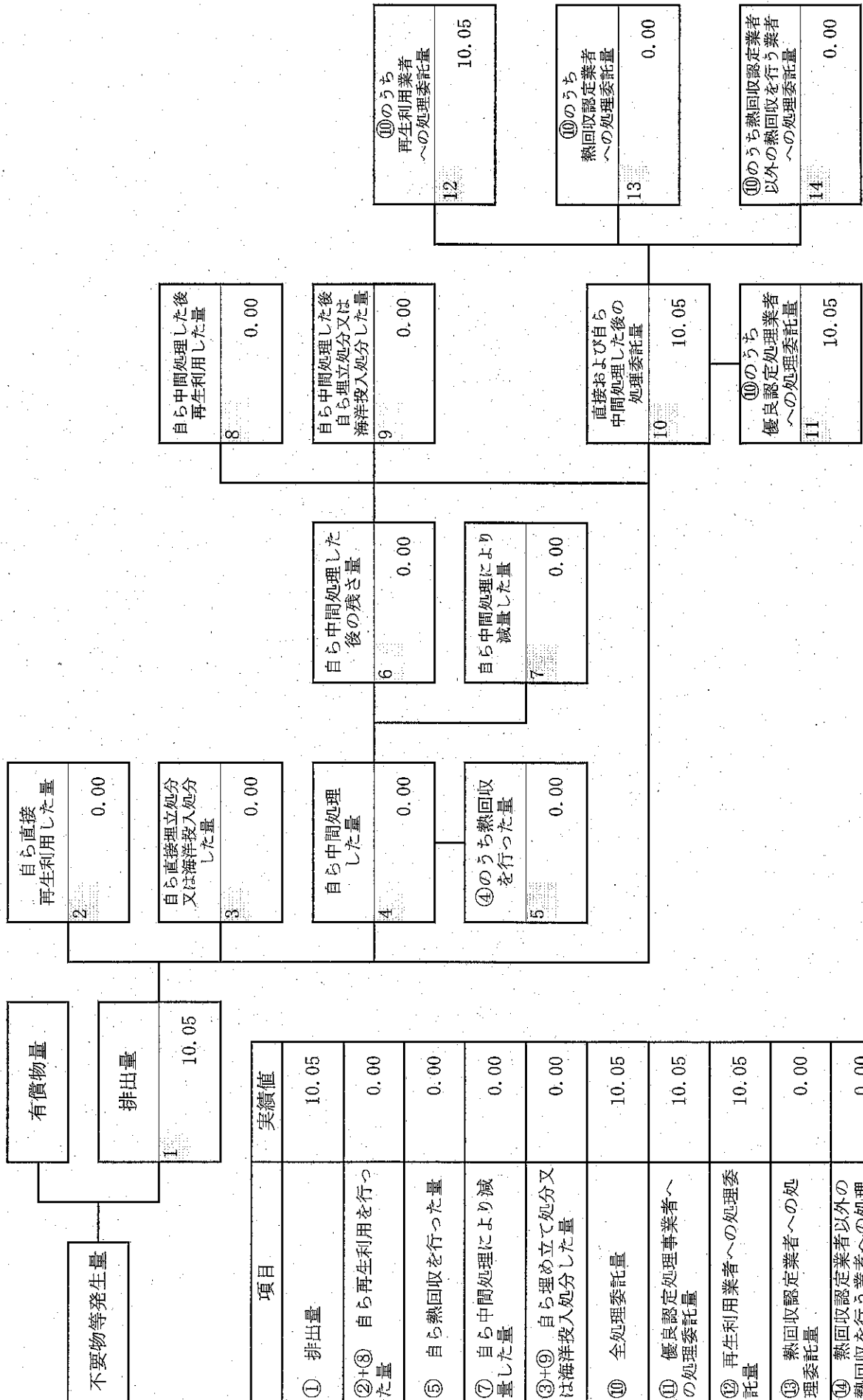
(産業廃棄物の種類： 木くず)



項目	実績値
① 排出量	25.03
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+④ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩ 全処理委託量	25.03
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	25.03
⑫ 再生利用業者への処理委託量	25.03
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

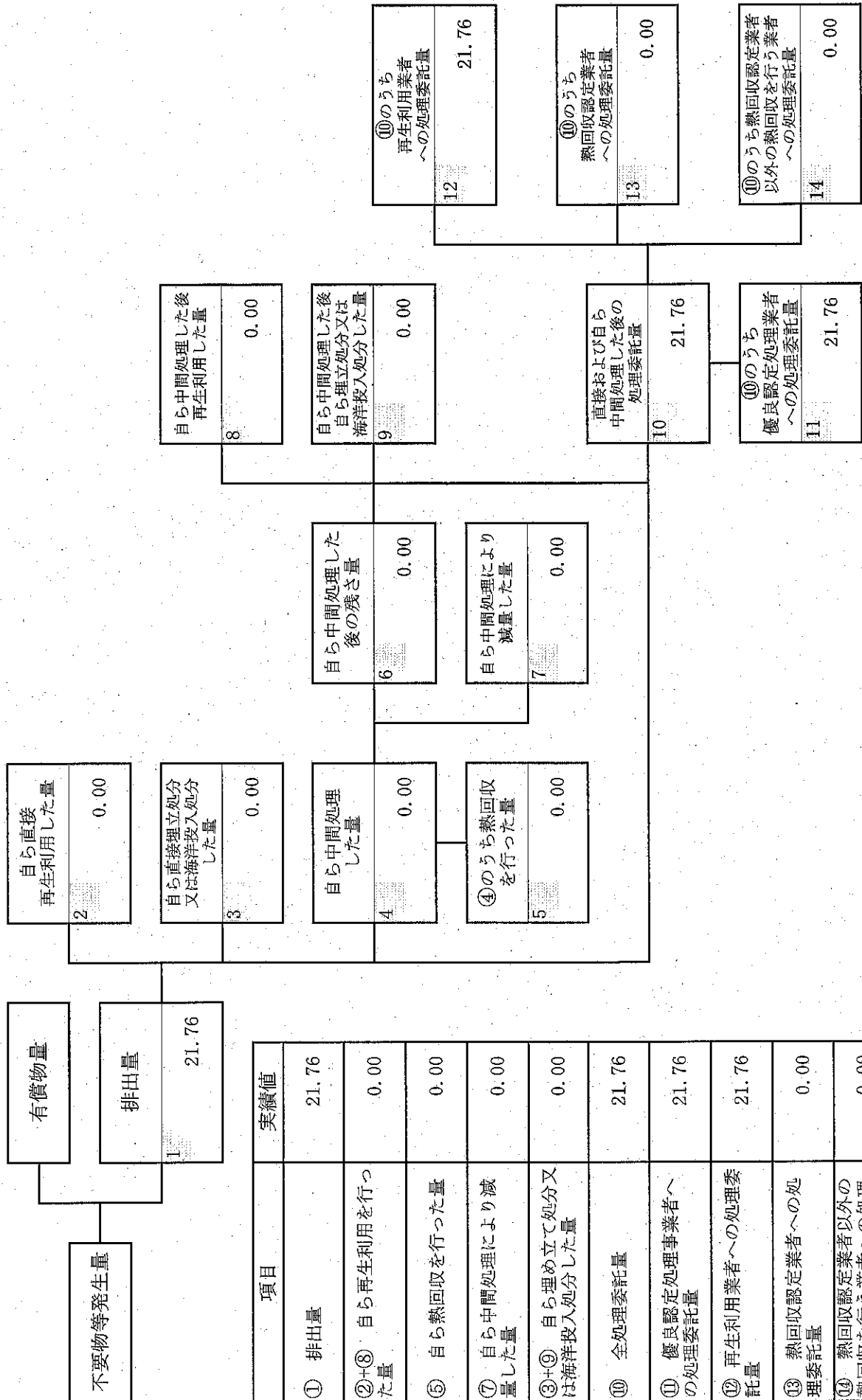
(産業廃棄物の種類: ガラスくず等)



項目	実績値
① 排出量	10.05
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+④ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩ 全処理委託量	10.05
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	10.05
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.05
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

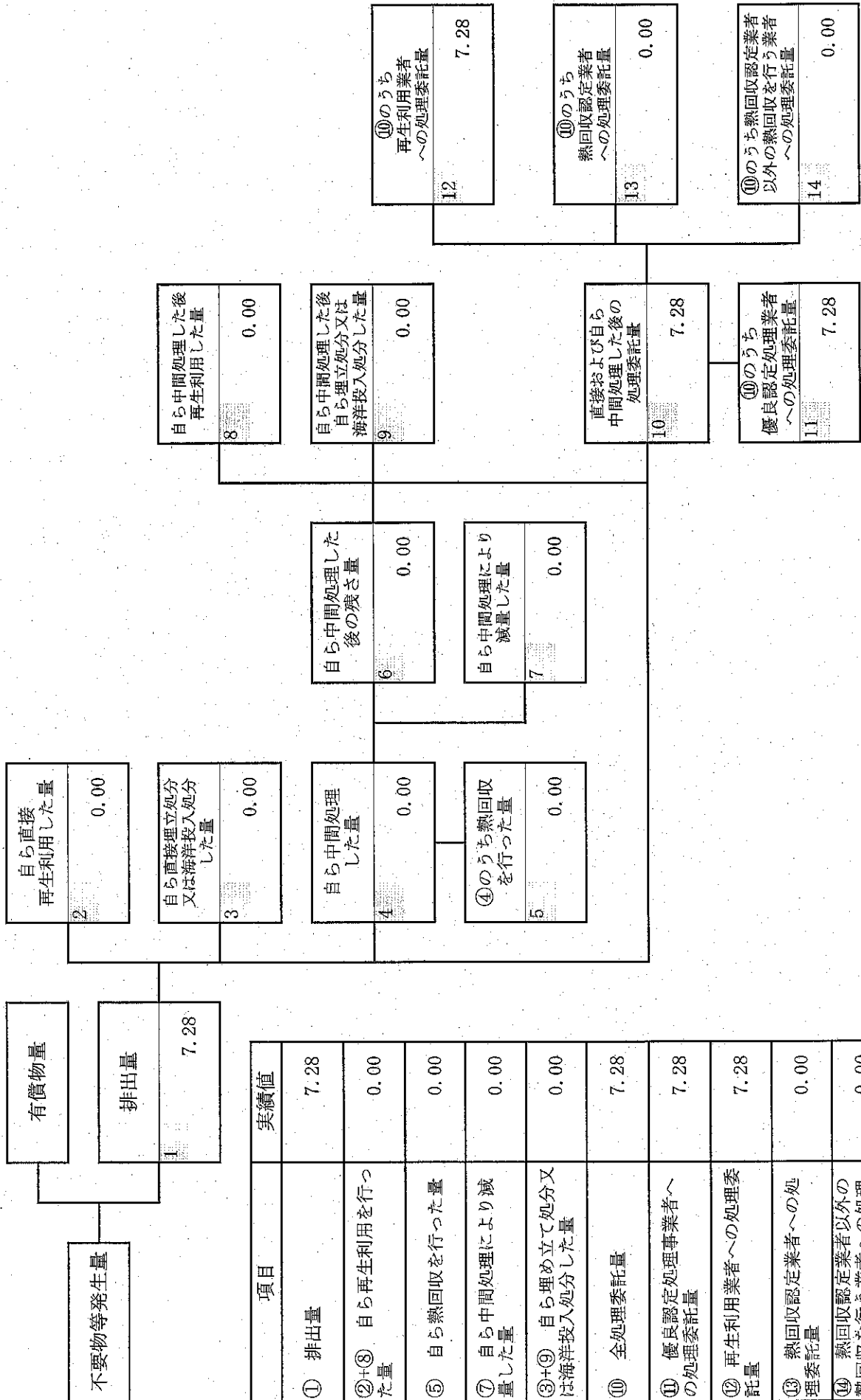
(産業廃棄物の種類： がれき類)



項目	実績値
① 排出量	21.76
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+④ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩ 全処理委託量	21.76
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	21.76
⑫ 再生利用業者への処理委託量	21.76
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況が明らかにした書類を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。